

# 校長通信

第3号 令和5年5月22日

## 対面式で

4月10日（月）の対面式において、校長からの激励として、WBC決勝の前に大谷翔平選手が、ロッカールームで選手たちに檄（ゲキ）をとばした時の言葉を引用し、まずは先輩に憧れて、そして追い越せという内容の話をしました。大谷選手の実際の言葉は次のとおりです。

「僕から一つだけ。憧れるのをやめましょう。ファーストにゴールドシュミットがいたり、センターを見ればマイク・トラウトがいるし、外野にムーキー・ベッツがいたり、野球をやっていたら誰しも聞いたことがあるような選手たちがいると思う。憧れてしまっただけでは超えられないので、僕らは今日超えるために、トップになるために来たので。今日一日だけは彼らへの憧れを捨てて、勝つことだけ考えていきましょう。さあ、行こう！」  
結果はご存じのとおり14年ぶり3度目の優勝です。

言葉は人を鼓舞したり元気づけたりする力があります。一方で人を傷つけたり、最悪死に至らしめることもあります。言葉は人を傷つけるためではなく、励まし勇気づけるために使って欲しいと思います。

保健室にある本の一説から。「いままでにあなたがいったなかで、いちばんゆうかなことばは？」ぼくがたずねると、馬はこたえた。“たすけて”（『ぼく モグラ キツネ 馬』チャーリー・マッケジー著）

## 校長室に入荷した本

この度校長室に、『学習まんが日本の歴史』と『学習漫画世界の歴史』、『まんが人物館』が入荷しました。

たかが漫画と侮るなかれ。

「ドラゴン桜」では、古典の学習として漫画の「源氏物語」を読ませるというエピソードがありました。今回入荷の漫画は、歴史を通史としてとらえるには最適の教材です。

歴史に興味のある生徒はもちろん、進学で日本史や世界史の必要な生徒、歴史上の人物に興味のある生徒は、どうぞ校長室に借りに来てください。すでに何人かが借りに来ています。



## 避難訓練

5月17日（水）は避難訓練でした。小樽市消防署消防司令からは、講評として「ハンカチを口に当てて、おしゃべりをせずに避難するなど、素晴らしい避難訓練でした」と評価されました。

解散の際、二人の生徒が消防司令に駆け寄り、マスクをしていればハンカチはいらないのかという質問をしていました。煙の粒子は小さいので、マスクの隙間から煙は入ってくる。できれば濡らしたハンカチが望ましいということでした。



消防法によると、学校は、不特定多数が出入りする病院、スーパー、カラオケボックス等とは違って、非特定防火対象物なので、防災計画に従って1回以上、消火訓練・通報訓練・避難訓練・総合訓練をしなければならないと定められています。今回の避難訓練は、前の3つを一度に行う「総合訓練」にあたります。

災害はいつ起きても不思議ではありません。訓練を通して、何かあった時に、冷静に素早い行動がとれるよう心構えを持って欲しいと思います。